

杉並行政サービス民間事業化提案制度 「テーマ型」提案事業審査結果について

1 テーマ 電子地域通貨事業

2 提案件数 9 件

3 審査方法

杉並民間事業化審査モニタリング委員会に「テーマ型」審査会を設置し、公募要項に基づき、事業化に向けた区との協議を行う実施事業候補を以下の方法により審査し、選定を行った。

第一次審査（書類審査）と第二次審査の合計点が総計の70%以上であることを選定条件とする。

の条件を満たす提案が複数あった場合は、第二次審査の得点によって順位付けして選定する。

4 審査結果

上記の方法により審査を行った結果、選定条件を満たす提案が2件あったため、二次審査の得点により第1順位をフェリカポケットマーケティング株式会社、第2順位を株式会社NTTデータ信越とした。

なお、協議対象となる第1順位のフェリカポケットマーケティング株式会社の提案概要と評価は、以下のとおりである。

(1) 提案概要

共通商品券を地域通貨と位置づけ、「子育て応援券」「長寿応援ポイント」事業以外にも地域通貨の取得できる事業（区が支払う小額な謝礼金や町会等で行うボランティアなど）を拡大、また、地域通貨が利用できる範囲（すぎまるの運賃や区への支払いなど）を拡大することで、地域通貨の循環を図る。

フェリカポケットの特性を活かした地域通貨専用カードを作成し、対象事業を個別に管理する。

地域通貨専用カードに民間の電子マネー機能を付加すると共に、公共施設の利用カード、子供の安全見守りシステム、商店街のポイントカードなどの機能を取込むことで幅広い年齢層へのカード普及を図る。

(2) 評価

事業者が持つノウハウを活かし、地域通貨の機能だけでなく、公共施設の利用カードや子供の安全見守りシステムなどの機能を取込むことで、利用者の利便性の向上が図れることやコールセンターの設置、リスク管理体制など安全性の確保、システムの拡張性などの点については評価できる。

しかし、提案されている経費やその負担割合では、区の財政負担が極めて重く、費用対効果の面では課題が多い。今後、事業内容の精査と提案にある収入事業による運営財源の確保を図るなど、イニシャルコストを含めた総経費と費用負担の適正化及び経費に対する効果の向上について、区と事業者は、商連等を交えて協議を行う必要がある。

5 審査会委員（テーマ型）

委員名	所属・役職
黒川 和美	法政大学大学院 教授 (民間事業化審査モニタリング委員会委員)
鎌形 太郎	三菱総合研究所 主席研究員 (民間事業化審査モニタリング委員会委員)
牛山 久仁彦	明治大学 教授 (民間事業化審査モニタリング委員会委員)
傍士 銑太	日本経済研究所 専務理事
西川 雅史	青山学院大学 准教授

6 審査経過

月 日	会議名	内容
10月20日(火)	第2回杉並民間事業化審査モニタリング委員会	・応募状況について ・スケジュールについて
	第1回杉並行政サービス民間事業化提案「テーマ型」審査会	・審査委員長の選任 ・書類審査の審査表について ・今後のスケジュールについて
10月29日(木)	第2回杉並行政サービス民間事業化提案「テーマ型」審査会	・一次審査の結果及び二次審査事業者の決定について ・二次審査方法について ・今後のスケジュールについて
12月17日(木)	第3回杉並行政サービス民間事業化提案「テーマ型」審査会	・二次審査の進め方について ・事業者ヒアリング ・審査結果のとりまとめ